

修 士 論 文 の 和 文 要 旨

研究科・専攻	大学院	電気通信学研究科	知能機械工学専攻	博士前期課程
氏 名	澤田 枝里香		学籍番号	0734039
論 文 題 目	風知覚に関する研究			
<p>要 旨</p> <p>本研究では複合感覚を提示可能な情報媒体として、風を使用する。風は匂いや温度、木々のゆれ、風の音のように、様々な感覚情報をのせることのできる情報媒体である。また、窓を開けると、風が吹き込む時に私たちは外の環境と部屋の環境が繋がったと感ずることができる。風を利用することにより、人の持つ様々な感覚に対して同時に働きかけることのできる情報提示装置を生み出すことができる。</p> <p>また、風は人に対して、様々な感覚情報を非接触に提示できる情報媒体である。接触型の装置と異なり、多人数に同時に情報を提示することができるなど利点が多くある。本研究の目標は、このような特徴を持つ風の入出力を可能とする装置を生み出すことである。</p> <p>また、風の入出力を可能とする装置を作る為には、そもそも何故私たちが風を知覚することができるのか、ということを知る必要がある。</p> <p>風が人体に与える影響についての議論は、スポーツ分野や建築分野、空調分野などで盛んに議論されている。これらは主に、風によって人の活動が阻害される分野において多くの研究がなされてきた。また建築分野においては、人が不快だと感ずる風が室内に発生しないように建築物を設計することが求められている。その為、人にとって不快な風、快適な風とは何か、という議論もなされてきた。しかしこういった分野においても、人が何故風を知覚することができるのか、ということに関しては明らかにされていない。</p> <p>これを知ることによって、効果的に風を利用し、人に情報を提示することができる。そこでまず本研究では、人は何故風を知覚することができるのか、ということを実験によって明らかにする。そしてその実験結果を利用して、風を情報媒体とする入出力装置（インタフェース）を生み出した。</p>				